

## 解析学概論 解答例

2014.04.14

■  $p \geq 2$  を素数とする。このとき、 $\sqrt{p}$  は有理数でないことを示せ。

(解)  $a$  と  $b$  を整数、 $p$  を素数とすると、 $ab$  が  $p$  で割り切れれば、 $a$  または  $b$  が  $p$  で割り切れることに注意したい。<sup>\*1</sup>

$\sqrt{p}$  が有理数と仮定する。このとき、互いに素な自然数  $n, m$  を用いて、 $\sqrt{p} = m/n$  と表せる。 $m^2 = pn^2$  より、 $m^2$  は  $p$  で割り切れるので、 $m$  も  $p$  で割り切れる。つまり、自然数  $\hat{m}$  を用いて  $m = p\hat{m}$  と表せる。代入して整理し直すと、 $n^2 = p\hat{m}^2$  となり、同様の議論により、 $n$  は  $p$  で割り切れる。これは  $n$  と  $m$  が互いに素であることに反する。したがって、 $\sqrt{p}$  は有理数ではない。 ■

---

<sup>\*1</sup>  $ab$  が  $p$  で割り切れ、かつ、 $a$  と  $b$  が  $p$  で割り切れないと仮定する。 $a$  と  $b$  それぞれを  $p$  で割ったときの商を  $q_1, q_2$ 、余りを  $r_1, r_2$  とすると、

$$a = pq_1 + r_1, \quad 1 \leq r_1 < p, \quad b = pq_2 + r_2, \quad 1 \leq r_2 < p$$

であり、 $r_1$  と  $r_2$  のすべての素因数は  $p$  より小さい。 $p$  が素数であることから、 $p$  は  $r_1 r_2$  の素因数ではない。また、

$$ab = p(pq_1q_2 + q_1r_2 + q_2r_1) + r_1r_2$$

より、 $r_1 r_2 \geq 1$  は  $p$  で割り切れる、つまり、 $p$  は  $r_1 r_2$  の素因数となり、矛盾である。したがって、 $ab$  が  $p$  で割り切れれば、 $a$  または  $b$  は  $p$  で割り切れる。